

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	准教授	氏名	宮城 由美子
----	-------------	----	-----	----	--------

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として小児病棟での臨床経験を経て、看護教育、保育士養成に携わり、2006年より本学に着任。現在行っている研究は、子どもの日常的な疾患（common disease）の看護である。そのため外来における看護が中心であり、外来ケアモデルに関する研究を行っている。現在小児医療において、特に小児救急問題などは保護者の家庭看護力の低下が指摘されている。そのため日常的な疾患における家庭療養や、アレルギー疾患を有している子どもの日常生活管理を有効に行うことができる育児支援活動を行っている。また私の行っている研究活動は、子どもの健康支援であり、医療職だけでなく、保育の現場、そして家庭、地域との協働で行うことに重点をおいている。そのため、「子どもの健康見守り隊」として幼児・保育者・保護者を対象にした健康教育を展開している。これらの実践により幼児期における自己の健康を維持増進するための方法及び有効性について研究している。

2. 研究業績

①著書・論文

<論文>

- ・宮城由美子、太田恵子、中山慶子、吉川未桜：「健康保育に対する保護者のニーズ」保育と保健 Vol115(1) 2009 (平成 21) 年
- ・横尾美智代、宮城由美子、中込治：「ロタウイルス胃腸炎による入院のリスクとロタウイルスワクチンに対する小児科医および保護者の意識調査」臨床とウイルス. 37(3)、2009年
- ・橘則子、宮城由美子：「保育士を対象に看護師が行う応急手当教育の必要性」福岡県立大学看護学研究紀要7(2)、2010年
- ・細井勇、古橋啓介、秦和彦、宮城由美子、吉川未桜、林ムツミ、黄 星賀、徐 慧全、南美慶、宋 映沃：「子育て意識と子育て支援に関する実態とニーズ調査から少子化問題とその背景を考える 福岡市と大邱・釜山市との比較調査結果の分析を通じて」福岡県立大学人間社会学部紀要19(1)、2010年
- ・宮城由美子、高橋みどり、岡部貴裕、横尾美智代：「食物アレルギー児に行う除去食が家族・きょうだい児に及ぼす影響について」外来小児科13(3)、2010年
- ・橘則子、宮城由美子、吉川未桜：「小児看護実習で看護学生が学んだ子どもの権利を尊重した関わりについて」福岡県立大学看護学研究紀要8(1)2011年
- ・横尾美智代、吉川未桜・柏原やすみ・宮城由美子：「乳幼児の身近な疾患のケアに対する保護者の知識に関する調査ー子どもの下痢の予防に対してー」福岡県立大学看護学研究紀要9(1)、2011年
- ・柏原やすみ・吉川未桜・宮城由美子：「卒業前に実施した小児看護技術の演習効果」福岡県立大学看護学研究紀要9(1)、2011年
- ・宮城由美子、横尾美智代、山本八千代：「下痢症に罹患した乳幼児に対する保護者の家庭療養行動」小児保健研究70(3)、2011年
- ・秋鹿郁子、山本八千代、宮城由美子、竹谷健：「食物アレルギー児をもつ母親の主観的困難感と看護者に望むもの」小児保健研究70(5)、2011年

②その他の業績

<解説>

宮城由美子、「小児看護学」担当：『看護師国家試験過去問題 2012年』編者：安酸史子、北川明、監修：佐藤香代、メディカ出版、2011年

<報告>

宮城由美子、田中美樹、吉川未桜、柏原やすみ：「子どもの健康見守り隊システムの構築」、新生活産業くらぶFUKUOKA シーズ発表会、2012年1月、福岡市

<学会報告>

- ・宮城由美子：「日・韓子育て支援シンポジウム 子どもの健康と子育て支援」2009年3月、福岡市
- ・宮城由美子、高橋みどり、稲富紀代他：「外来における食物負荷試験により食物除去が解除になった子どもと家族の特徴」第26回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会、2009年5月、福岡市
- ・宮城由美子、山本八千代：「下痢症状を有する子どもの家族による療養行動と看護に関する調査」第29回日本看護科学学会、2009年、千葉
- ・岡部貴裕、宮城由美子：「開業外来での食物経口負荷試験の適応および安全性-約3000例の検討」第10回食物アレルギー研究会、2010年2月、東京
- ・宮城由美子、横尾美智代、吉川未桜、柏原やすみ：「保育士からみたアレルギー疾患児保育の現状」第58回日本小児保健協会学術集会、2011年、名古屋
- ・横尾美智代、宮城由美子、吉川未桜、柏原やすみ：「乳幼児の身近な疾患のケアに対する保護者の知識力向上のための調査、第58回日本小児保健協会学術集会、2011年、名古屋
- ・岡部貴裕、宮城由美子：「開業外来での食物経口負荷試験の安全性 約4000例の検討」第48回日本小児アレルギー学会、2011年、東京

③過去の主要業績

宮城由美子：「アトピー性皮膚炎児を持つ家族の生活実態および不安の特徴」 日本看護学会誌 Vol.16(1) 2006(平成18)年12月

3. 外部資金獲得

平成23年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金）基盤研究（C）「ワクチンによる感染症予防策に消極的な保護者の意志決定過程、リスク認識に関する研究、平成23-25年（4160千円）、研究分担者

5. 所属学会

日本小児看護学会、日本小児保健協会、日本看護研究学会、日本家族看護学会、日本保育園保健協議会、全国保育園保健師看護師連絡会、日本子ども学会 会員

6. 担当授業科目

「小児看護論」2単位・2年・前期、「小児看護実践論」1単位・3年・通年、「小児看護実習Ⅰ」1単位・3年・通年、「小児看護実習Ⅱ」1単位・3年・通年、「統合実習」3単位・4年・前期、「専門看護学ゼミ」2単位・4年・前期、「卒業研究」2単位・4年・後期、「小児看護学特論」2単位・大学院1年・前期、「小児看護学演習」2単位・大学院1年・後期、

7. 社会貢献活動

北九州市児童福祉施設等第三者評価委員

8. 学外講義・講演

- ・宮城由美子(2011.10).「地域の課題解決に向けて 公開講座Ⅱ 子どもたちへの虐待を防止するために和ついたちが出来ること（幼児虐待）」平成23年度福岡県立大学公開講座
- ・宮城由美子(2011.10).「現代の学生の気質、看護基礎教育でのカリキュラムから指導案の立て方まで」福岡市立子ども病院

9. 附属研究所の活動等

- ・ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員
- ・宮城由美子(2011.6)、子どもの心の育ち 畑保育所
- ・宮城由美子(2012.1)、子どもの心と体の健康、城野保育所
- ・宮城由美子(2011.9). 保育看護学習会「知っていますか？子どもの目、眼の病気」おぐまの保育園
- ・宮城由美子(2011.12). 保育看護学習会「熱が出来た！！何をするのか今一度考えましょう」
- ・宮城由美子 (2011.5~2011.2)健康保育「自分のからだ大切に！(年長)8回実施」三萩野保育園
- ・宮城由美子 (2010.6~2011.2)健康保育「自分のからだ大切に！(年長)3回実施」北方保育園